

データでみる福島再生

最近の動き

○福島県内の除染仮置場等の状況

- ・仮置場等総数1,371箇所のうち、393箇所では除去土壌等を保管中、978箇所では搬出が完了し、641箇所の仮置場で原状回復が完了しました。

○中間貯蔵施設の整備の現状

- ・除去土壌の分別処理を行い、11月末時点で、約604.1万 m^3 （輸送量ベース）の土壌を土壌貯蔵施設に貯蔵しました。
- ・廃棄物の焼却及び焼却灰の灰処理を行い、11月末時点で、灰処理ばいじんを封入した鋼製角形容器3,086個を廃棄物貯蔵施設に貯蔵しました。

○中間貯蔵施設への除去土壌等の輸送の進捗状況

- ・2020年11月末時点で、累積約978万 m^3 （全体の約69.9%）の除去土壌等を中間貯蔵施設へ輸送しました。

○中間貯蔵施設用地の状況

- ・用地取得については、11月末時点で契約者数1,784人、面積約1,197haについて契約しております。

○国直轄による対策地域内廃棄物等の処理進捗状況

- ・災害廃棄物等の仮置場への搬入については、10月末時点で、約286万トンの搬入を完了しました（うち、約50万トンが焼却処理済、約176万トンが再生利用済）。
- ・被災家屋等について、10月末時点で、約16,900件の解体撤去申請を受付済みであり、約15,900件を解体撤去済みです。

○国直轄による対策地域内における仮設焼却施設の設置状況

- ・10月末時点で、約124万トン（除染廃棄物を含む）を各仮設焼却施設で処理しました。

○特定廃棄物埋立処分施設への搬入状況

- ・11月末時点で、154,213袋を特定廃棄物埋立処分施設へ搬入しました。

○**放射線に関するリスクコミュニケーション活動状況（11月実施）※**

- ・相談員支援センターにおいて、研修会を3回、専門家派遣を1回、住民セミナーを3回、車座意見交換会を3回実施しました。
 - ・環境再生プラザにおいて、専門家派遣を14件、移動展示を11件(11日)実施しました。
 - ・内部被ばく検査(WBC)を9日間実施しました。
 - ・ガンマカメラを活用し、仮置場の原状回復などの検証を19台日実施しました。
- ※いずれも、新型コロナウイルス感染拡大防止策を講じて実施しました。

○**帰還困難区域等における鳥獣の捕獲状況**

- ・今年度の捕獲数は、11月末現在でイノシシ1,799頭、アライグマ355頭、ハクビシン85頭となっています。